



芦安中学校だより

第 2 号

校長 大石 浩雄

2024. 5. 28

☆プール清掃を実施しました

4月23日(火)にプール清掃がありました。午前中に小学生がプール内部を、午後に中学生がプールサイドや周辺を受け持ち取り組みました。芦安のプールは屋内にあります。そのため屋外にプールがある学校と比べプール清掃や授業の時期が1か月ほど早くなっています。生徒のみなさんは近づいてきた水泳授業のため一生懸命清掃に取り組むことができました。



☆授業参観・PTA 総会・学年部会ありがとうございました

5月2日(木)に実施された授業参観・PTA 総会・学年部会へのご参加・ご協力ありがとうございました。参観授業は3年生が社会科の授業でした。「第2次世界大戦後の東西冷戦」についてその背景やその中で起きた出来事などについて対話的に学習していました。2年生は学級活動で「将来の職業について考える」ことをしました。落ち着いた雰囲気の中、親・子がそれぞれ職業選択の際に何を重視するのかなどをワークシートにまとめながら自分と他の人の価値観や職業観について学びました。1年生は理科で「にぼしの解剖」を行いました。小さな煮干しの中から脳や耳石などいろいろな器官を見つけだそうとしていました。



授業後の PTA 総会・学年部会では今後の活動や子供の日ごろの学校生活についてなどが話し合われ有意義な時間とすることができました。総会の中でも話させていただきましたが、芦安小中学校 PTA は大きな組織ではありません。だからこそ保護者と教職員がめざす子供の姿をしっかりと共有しながら協働できる組織として活動していけるとよいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

☆芦安ファンクラブから寄付をいただきました

芦安中学校の体験活動をいろいろな角度から支えてくださっている芦安ファンクラブをご存じですか？(知らないという方はぜひネットで検索してみてください！) その芦安ファンクラブの皆様から学校のいろいろな体験活動に役立ててくださいと寄付をいただきました。いただいたものを大切に使いながら、体験を通じて生徒が自然環境や芦安地区について考え、行動を起こせるようにしていきたいと思います。ありがとうございました。



☆生徒総会

5月14日(火)の6校時に生徒総会が行われました。全校生徒11名と小さい生徒会ですが、小さいからこそ全員に発言する機会があり、だれもが「自分事」として話し合いに参加できました。小学校の児童会活動、中学や高校での生徒会活動というのは、自分たちの生活のことを自分たちで考え決める自治活動です。こうした活動を通じて、将来生徒のみなさんが社会に出たときに自分たちのことは自分たちで考え決めることができるように学んでいきます。今回の生徒総会で話し合われた今年度の活動の柱となる「積極性」「協力」「継続」を忘れずに毎日の学校生活を充実させていってくれることを願っています。



☆2年生県内巡り

5月15日(水)に2年生が総合的な学習の時間に取り組んだことのまとめとして甲府市内各所を見学してまわりました。当日は天候にも恵まれ、さわやかな5月の空気の中、昇仙峡周辺と武田神社、山日YBS本社などを自分たちで計画したコーススケジュールにそってまわることができました。今回学習・経験したことは、この後取り組む3年生の修学旅行の学習や自分の将来の職業を考える学習へとつながっていきます。



☆学校林整備

5月20日(月)の午後に予定されていた学校林整備は、前日の夜から続いた雨のため登山道の状態が悪く残念ながら中止となりました。保護者も参加して行う予定だったこの行事は、自然体験活動の一つであることはもちろん、授業の時とは違う子供の様子を知ってもらうことや親子で同じ体験をすることで互いのコミュニケーションを深めてもらうといった側面もあります。その機会は7月に予定されている全校登山へと持ち越しになりますが、学校林整備そのものは6月3日(月)に実施することになりました。

☆ボルダリング体験

5月21日(火)の6校時に全校でボルダリングをしました。芦安ファンクラブの方をはじめ地域に関係する方4名が講師として生徒の指導と安全確保に協力してくださいました。これまでの経験や体格・体力に違いがあるため登れるコースに違いはありましたが、どの生徒もチャレンジしてみようという気持ちで取り組む素晴らしい1時間でした。



できない理由ややらない理由をいろいろとつけて苦手なことや困難なことを避けて通ろうとする人が世の中にはいます。「嫌でも何でもとにかく我慢してやりなさい」という大人は少なくなりました。現代は「やる・やらないはあなた次第。その代わり結果は自己責任で」という風潮です。それがよいかどうかはわかりませんが、そうした時代だからこそ生徒には難しいことにもチャレンジする体験、チャレンジしてうまくできたあるいは失敗した体験をすることが必要なのではないかと思います。これからの中学校生活の中でもいろいろなどところでチャレンジする機会があるはずで、その機会を生かしていきましょう。

☆小中合同太鼓活動

5月23日(木)6校時に小学校4年生~中学校3年生までが一堂に集まり小中合同太鼓練習が行われました。今年度最初の練習ということで、太鼓の演奏そのものではなく「なぜ太鼓活動をするのか」「地域の方は小中学生の太鼓活動に何を期待しているのか」といった動機付けの機会となるような授業を行いました。授業は進行役の教頭先生が、過去の写真や映像などを交えながら初代夜叉神太鼓メンバーで保存会の伊東様にインタビューをする形で進めてくれました。児童生徒だけでなく授業の様子を見に来てくださった学校運営協議会委員さんや先生方も先達からの話や映像に引き込まれていました。



芦安中学校はコミュニティースクールとして多くの場面で地域の方に支えてもらっています。私は、そのことを当たり前と思わず感謝の気持ちを持つことができる芦安中生であってほしいと思っています。感謝の気持ちを伝える一つの手段として、また地域に貢献できる中学生として、伝統を引き継ぐ皆さんの姿や演奏を聴かせることができたらいいのではないのでしょうか。

☆バドミントン県選手権大会

5月25日(土)に山梨県中学校バドミントン選手権大会が行われました。本校からは3年生~1年生の男子各1名と1年生の女子3名がシングルの試合に出場しました。試合については3年生が1回戦を勝ち上がり2回戦でフルセットの末惜敗、他の2年生1年生は残念ながら1回戦敗退という結果でした。試合ですから勝敗があることは当たり前です。大切なことは勝敗そのものではなく、試合の結果をどのように受け止め次につなげるかです。バドミントン部のみなさんには、そこに視線を向けて、次への一歩をしっかりと踏み出してもらいたいと思います。大会に参加した6人の選手のみなさんと顧問の先生、お疲れ様!

